

1 今年（H27）の傾向

総評・講評（大問毎に）

文系

1 (数列)

(1) を答えるのが難しい、これを解答できればあとは定番の
方法でできる

2 (図形と方程式, 空間図形)

(1), (2) をしっかりと解いて、得点しよう。(3) は公式はあつか、
文系の受験生はしらないと思われる

3 (確率)

場合分けをしっかりとすることが大事である 基本公式は知っておこう。
得点したい問題である

4 (微分法の応用)

(1), (2) は微分法の応用での定番である。得点してほしい。
(3) は気付きにくい。

総評

全体を通して、標準問題が出題されている。場合分けの問題が
3, 4 に出ている 昨年より難化している。

2 合否ライン（予想）※他の教科が合格ラインをとったときの得点（%）予想

【文系】

文学部	50%	保健／看護	55%
教育学部	55%	" 検査	%
法学部	65%	" 放射線	%
経済学部	60%		

3 来年受験する生徒へのアドバイス

- 基本公式はしっかりと覚えておく。
- 場合分けを必要とする問題がよく出題される。（最大・最小、確率）の2日頃からは学習をしっかりとしておく。
- 東大文系の問題は例年、確率、ベクトル、微分積分各1題と他の分野1題であるので、その3つの分野はよく演習しておく。